第27回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 2015年6月4日(木)13時00分～14時30分
2. 場所 日本自動車会館11階
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第2会議室
3. 出席者 大杉座長、小島委員
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 再資源化支援部
経済産業省・環境省担当官
4. 議題 1. 2014年度 離島対策等支援事業 実績報告(案)
5. 会議の概要

(再資源化支援部)

議題1. 2014年度 離島対策等支援事業 実績報告(案)について説明。

(委員)

離島対策支援事業は安定的に推移していると考えるが、再資源化支援部はどのように評価しているのか説明されたい。

(再資源化支援部)

運用変更に伴い対象期間を見直した2011年度を除き、申請台数は2万台を超えて安定している。台当たり輸送単価が比較的安価な市町村の申請台数が増加傾向であり、申請額は相対的に微減傾向にあるものの概ね1億円程度で推移しており、事業全体では安定していると考える。

(委員)

資料3「(1)計画と実績の乖離解消 ①計画の精度向上」において、比較的規模の小さい市町村であっても、引き続き計画と実績を注視すると共に、必要に応じて事業計画策定時の情報提供や助言等の支援を実施されたい。

(再資源化支援部)

比較的規模の小さい市町村であっても、引き続き計画と実績を注視すると共に、必要に応じて支援する。

(委員)

資料3「(1)計画と実績の乖離解消 ②事業の活用促進」において、定期貨物船の休航により使用済自動車が増加していた与那国町の状況を説明されたい。

(再資源化支援部)

2015年3月から新造船での運航が再開したため、増加していた使用済自動車も徐々に島外搬出され、同時に事業の活用も再開されている。引き続き、台当たり輸送単価の見直しの有無等を注視する。

(委員)

資料3「(3)事業認知度の維持・向上 ②事業認知度に関する分析」における、課題を特定できなかった松浦市と三豊市について、直接住民へ調査する方法を説明されたい。

また、これまでに同様の調査をした事例の有無を知りたい。

(再資源化支援部)

現時点では、自治区長等の住民に対するアンケートを想定している。

また、これまでに広島県三原市や長崎県西海市など複数の市町村で、同様のアンケートを実施している。

(委員)

資料3「(5)受付支払業務確認検査及び申請書受付時の証憑確認」における、久米島町の誤った事務手続きについて具体的に説明されたい。

(再資源化支援部)

法施行当初、久米島町では島内の既存事業者2社が事業を活用する想定の下、町が海運会社と事業者の間に入り、台当たり輸送単価が設定された。その後2011年頃に沖縄本島の事業者が新規に参入し、自ら海運会社と価格交渉を行い、新たに設定したより安価な台当たり輸送単価に基づき海上輸送を行った。この沖縄本島の事業者による海上輸送について、久米島町は従前の台当たり輸送単価が適用されているものと思い込み、申請が過大な額となった。

(委員)

不法投棄等対策支援事業において、事業を活用せず公費を原資として使用済自動車等処理する事例はどの程度あるのかを知りたい。

また、2014年度に予算化していた1事案について、事業を活用しなかった理由を説明されたい。

(再資源化支援部)

事業に関する相談があった場合は、積極的に事業の活用方法や他事案の活用事例を案内しているが、要件を満たさないため事業を活用せず公費を原資として使用済自動車等処理した事例は多数ある。

2014年度に予算化していた1事案は、自治体が「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく措置を検討したものの、法定要件や手続き等を勘案した結果、同法に基づく行政代執行を行わなかったため、事業の活用に至らなかった。

(委員)

議題1. については、承認する。

(再資源化支援部)

離島対策等検討会での承認を受け、2014年度 離島対策等支援事業 実績報告(案)における収支報告及び出えん実績について、2015年6月5日開催の第62回資金管理業務諮問委員会に上程する。

以上